

Part 1 基本情報

1. シリアプロフィール

- | | |
|------------|--|
| (1) 正式名称 | (和文)シリア・アラブ共和国
(英文)Syrian Arab Republic |
| (2) 政体 | 共和制 |
| (3) 首都 | ダマスカス |
| (4) 面積 | 18万5000平方km |
| (5) 人口 | 1800万人(2003年) |
| (6) 民族 | アラブ人(85%)、ほかアルメニア人、クルド人、パレスチナ人など |
| (7) 言語 | 公用語 : アラビア語 |
| (8) 宗教 | イスラム教(スンニー派など)、キリスト教、ユダヤ教 |
| (9) 略史 | 紀元前4世紀、セム人の王国をアレキサンダー大王が占領。のちローマ帝国の支配下に入る。16世紀から1918年までオスマン・トルコの支配を受ける。1920年フランスの委託統治領となり、1946年独立。 |
| (10) 在留日本人 | 233人(2004年1月) |
| (11) 気候 | 地中海沿岸の地中海性気候と内陸部の内陸性気候とに分けられるが暖ともにそれほど厳しくはない。首都ダマスカスの年間平均気温は摂氏16.7度である。11月から3月までの雨季とそれ以外の乾季がある。 |

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(シリア事務所)

住所 : No.28 Al Mahdi Bin Baraka Street, Abou Rommaneh, Damascus, Syria

郵便物宛先 : JICA Syria Office, P.O.BOX 10012, Damascus, SYRIA

連絡先 : 国番号 : 963

市外局番 : 011

電話 : +963-11-3339359/3336858

FAX : +963-11-3334834

時間外・休日などの緊急連絡先 : 該当情報なし。

URL : <http://www.jica.go.jp/syria/index.html>

E-mail : jicasr@jica.go.jp

執務時間 : 8:30~16:30(昼休み13:30~14:30)

休日 : 下記祝日と金曜日、土曜日。

1月 1日～2日	New Year
1月 10日～12日	Pilgrimage Feast *
4月 10日	Prophet's Birthday
4月 17日	National Day (Evacuation Day)
5月 1日	May Day
10月 22日～24日	Ramadan Feast *
12月 31日	Year End holiday

(2006年)

事務所までの交通：

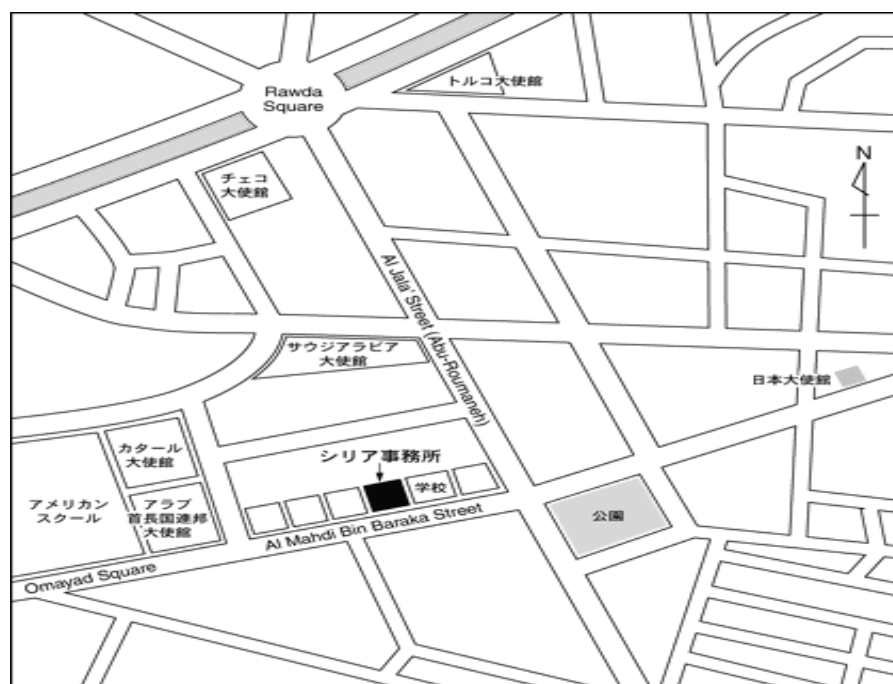
【空港から】

空港到着ロビーにリムジンカウンターがある。市内各ホテルまでの料金は約10米ドル。

【空港以外から】

タクシーが安く便利だが、英語の通じるドライバーは少ない。地名、行き先が有名でわかりやすい場合を除き、短期の滞在者には使いにくい。

事務所周辺地図



(2) 日本との時差、
サマータイム

日本との時差：-7時間
サマータイム：4月1日から10月14日(2004年)。日本との時差は-6時間となる。

(3) 祝日、官公庁
の休日

祝日：

1月 10日～12日	Pilgrimage Feast *
4月 10日	Prophet's Birthday
4月 17日	National Day (Evacuation Day)
5月 1日	May Day

10月 22日～24日 Ramadan Feast *
(2006年)

(*) These holidays are decided according to the Islamic Calendar (Lunar year)

官公庁の休日 : 上記祝日と金曜日、土曜日。

(4) ビジネスアワー

官庁 8:00～15:30(金土休み)

銀行 9:00～14:00(金土休み)

商店(雑貨屋を除く一般商店) 10:30～20:00(金曜日はほとんどの店が休業)

商店(食品雑貨屋) 10:00～21:00(金曜日でも開いている店もある)

* イスラム教地区の商店は金曜、キリスト教地区は日曜が休業となる。レストラン、カフェは金曜、日曜でも開いていて、深夜1:00ごろまで営業してる。

(5) 言語

業務 : 英語がある程度通用する。

ホテル、買い物、食事 : ホテルや高級レストランでは英語が通用するが、一般商店などではアラビア語が使われていて、英語はほとんど通じない。

(6) 通貨

通貨 : シリアポンド(L.S.またはS.P.)

(7) 関係機関

【在外日本関係機関】

● 日本大使館

住所 : No.3537 Sharkasiya, Aljala' Street, Abou Rommaneh, Damascus, SyrianArab Republic (B.P. 3366)

電話 : 011-3338273

【ケニアの関係官公庁】

● Ministry of Culture

住所 : アブルマーニ

URL : <http://www.culture-sy.org>

● Ministry of Education

住所 : ジスル・アビアッド

URL : <http://www.syrianeducation.org>

● Ministry of Health

住所 : ハムラ

● Ministry of Housing & Construction (Prev. MoHU)

住所 : メイサルーンストリート

● Ministry of Higher Education

住所 : ウマイヤドスクエア

● Ministry of Local Administration

住所 : メイサルーンストリート

● Ministry of Tourism

住所 : ビクトリア地区

URL : <http://www.syriatourism.org>

● Ministry of Transportation

住所 : アブルマーニ

URL : <http://www.mot.gov.sy>

● State Planning Commission

住所 : イブン・アルナース

(8) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるダマスカスの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

シリアの高級、中級ホテルでは、英語が通じる。春から秋にかけては観光客などで込み合うため、予約が必要である。赴任当初はホテルから徒歩で行動できるように、街の中心部にあるホテルを選ぶとよい。簡易ホテルは給湯時間に制限があったりエアコンがきかなかったりして、快適ではない場合が多い。

シリアでは、ホテルのランクにかかわらず、滞在証のない外国人はすべて米ドル払いとなる。シリアポンドで払うには、出入国ビザとともに1年間有効の滞在証の取得が必要となる。中・高級ホテルではクレジットカードが使える。

日本人がよく利用するホテルは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



- ・Sheraton Damascus Hotel(シェラトン・ホテル)
- ・Meridien Hotel(メリディアン・ホテル)
- ・Cham Palace Hotel(シャーム・パレス・ホテル)
- ・OMAYAD Hotel(ウマイヤド・ホテル)
- ・Semiramis Hotel(セミラミス・ホテル)



Meridien Hotel (メリディアン・ホテル)

1-2 住宅事情

日本人の多くは、JICA事務所や日本大使館を中心とする地区か、日本大使公邸のある新興住宅地に集中して住んでいる。前者は大きな公園やレストラン、日本語補習校、アメリカン・スクールにも近くて便利であるが、周辺の建物は老朽化しつつある。後者は、ダマスカス中心部から西にある新興高級住宅街(メッセ地区)で、新しい建物が多い。

アパートの1戸あたりの居住面積は広く、ベランダを除いて150~250平方mである。外国人向け賃貸住宅の家賃は、交渉により寝具、タンス、食卓セット、応接セットなどのほか、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、扇風機(またはエアコン)などの家電製品や、ガスレンジ、鍋、食器などの台所用品を含めた契約にすることができる。ただし、それらの品質はよいものばかりとは限らない。

家賃の高低は、周辺の環境、居住面積の広さ、住宅の新旧や状態、家具設備の内容、電話の有無などによって異なる。首都の相場は高く、JICA事務所や日本大使館を中心とする地区にある住宅は、家賃が1年間で1万5000~4万米ドルとなっている。高級アパートでは、セントラルヒーティングが備えられている。

賃貸用の、広い庭の付いた独立家屋はほとんどない。下宿は学生が利用し、家主宅の1部屋を借り、台所、風呂、トイレなどを家主と共用する場合が多い。大半は賄いなしだが、自炊ができるところもある。

1-3 住宅の探し方

不動産会社は多数あり、訪ねるとすぐに物件を見せてくれる。納得できる住宅が見つかるまで、数多くの物件を見て慎重に決めるとよい。契約が成立するまで手数料は不要である。

不動産会社を通して契約が成立した場合は、家主と借り主のそれぞれが、契約総額の5%ずつを斡旋料として不動産会社に支払うのが通例である。不動産会社の情報に限らず、ほかの日本人の住宅の家主が、何軒も家を持っていることも多いので、知人からの情報にも注意するとよい。

ダマスカスの主な不動産会社は次のとおりである。



- ・Anas AL Zaiim
- ・Mohammad Mozeh



JICA 事務所員宅

1-4 住宅選定上の留意点

現地では、次の条件を備えている住宅を借りるとよい。

- ・治安状況が良好で、子供にも安全な環境。
- ・静かで(大きなホテルの近くは夜遅くまで騒音に悩まされる)、車の往来が少ない。
- ・買い物や、通勤、通学に便利。
- ・部屋(特に台所、客間)の数、広さが十分にある。
- ・築後時が経っていない、もしくは維持・補修が行き届いている。
- ・使用可能な電話が付いている。
- ・夏は涼しく、冬は暖かい。したがって、アパートの場合は、冬は寒く、夏は非常に暑い最上階は極力避ける。
- ・備えられた家具、家電製品がきちんと機能している。
- ・セントラルヒーティング、給排水、給湯設備、電気が正常に機能する。
- ・夏季の断水時に備え、容量が十分な貯水タンクがある。
- ・アパートの上のほうの階に住む場合は、エレベーターが付いている。
- ・家主が外国人慣れしていて、入金後でも家具などの足りないものを用意してくれる。
- ・ドアや窓の閉まり具合、トイレの流れ具合、風呂の状態、部屋の明るさなどに支障がない。

1-5 住宅の契約

1年間契約であることが多い。不動産会社を通じた場合は、担当者立ち会いのもと、契約書を2通作成し、家主が1通、借り主が1通保管する。外国人向け高級アパートは、米ドル契約が一般的である。家賃は、1年分を前払いするのが現地の慣例で、契約後即入

居する場合は、契約時に支払う。敷金は不要である。

契約後、入居が大幅に遅れる場合は、契約期間を入居日からとすることを契約書に明記した上で、契約時か入居時に6か月か1年分の家賃をまとめて支払うことが多い。前払いした家賃は、家主の事情で契約を解消しない限り、払い戻すことは難しい。

主な家具、プロパンガスのボンベやガスレンジなどを含む台所設備、家電製品は、家主の責任と費用で揃えられる。契約書には家主が備え付けた家具、設備のすべてに関する一覧表を添付するので、契約時まで、あるいは入居前後に、必要なものを揃えてもらうこと。また、借り主があらかじめ家主との間で合意している金額内で家具を立て替えて購入し、あとで費用を請求するケースもある。

安全対策上、入居前に鍵を取り替えてもらう。また、ドアの覗き穴、チェーンロック、地階の場合には窓の鉄格子などを備えてもらうこと。

補修については、契約前にすべての項目を点検する。あとでトラブルを起こさないために、故障や異常の補修は、遅くとも入居までに完了してもらう。家主の誠意にもよるが、入居して家賃の支払いなどが済んでからでは、要求は実行されないことが多い。また、入居後に故障し、明らかにそれが長年使用したことによる老朽化が原因で、修理に多額の支出を要する場合も、家主に費用を負担してもらうことができる。このことは、口頭による合意だけでなく、契約書に定めておいたほうがよい。

契約に際しては、アラビア語と英語を十分に解する信頼できる人物を立ち会い人に立てる。家主の用意するアラビア語による契約書に、借り主側も正確な英文翻訳を付けて、契約内容に誤解がないようにする。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

通常、公共料金は借り主が負担する。電話は2か月、電気も2か月、水道は3か月ごとに不動産会社か家主宛てに請求書が配達されるので、借り主は彼らに現金で支払う。ただし、請求は使用月から2か月～半年遅れることがあるので、入居後の使用分であることを確認してから支払う。不明な点があれば、不動産会社か家主に請求書を確認してもらうようにする。また、請求書が届かないのに、いきなり電気などを止められてしまうこともあるので、その場合は、家主か各地域の公共料金支払い所に請求書を確認に行く。

水道の断水時間は、前の冬にどれだけ降雨・降雪があったかによって異なる。冬に降水量が少なかった年には、夏季に断水が行われることもある。

ガスはプロパンを使用し、ボンベ1本は必ず住宅に取り付けられている。このほか、大きな重油タンクが各戸に取り付けられていて、給油とセントラルヒーティング用に必要な重油代(マゾット代)も借り主が負担することになる。

ゴミは、深夜または早朝に収集車が来てくれるので、ナイロン袋に入れて回収場所に出す。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hzである。日本国内向けの製品(100V)を使用する時は、変圧器が必要である。大型変圧器は現地で手に入るが、小型変圧器は日本から持参したほうがよい。

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントは丸型ピン2本で、モジュージャックは日本と同型である。



モジュージャック

(3) 家電製品

たいていの家電製品は手に入るが、種類や品質を重要視する場合は、日本もしくはヨーロッパで購入したほうがよい。ただし、変圧機能の付いていない日本製品を使用する場合は、変圧器が必要となる。

また、停電が多く、電圧が安定していないので、安定器(レギュレーター)も用意したほうがよい。大型変圧器、安定器は現地でも購入できる。詳しくは「5-1家電製品」を参照のこと。

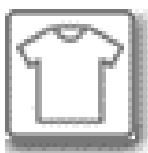
1-8 家具保険

家屋・家具などの保険制度はあるが、ほとんど利用されていない。家主が借り主に保険の加入を要求することもない。

1-9 その他

アパートによって異なるが、エレベーターの使用料や共同階段の清掃代は、全住で共同負担し、各人が毎月直接、清掃員に支払うことが多い。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

夏季が4～10月と長いため、夏物衣料を多く用意するとよい。また、冬季はかなり寒いので、防寒用のコートが必要である。

衣料は、品質、デザインを問わなければ、現地でもひとつおりのものが入手できる。また、スーツなども、デザインにこだわらなければ現地で仕立てることができる。ただし、シリア国産の衣料は縫製、仕上げが粗雑で、色落ちが激しい。日本製品に比べてかなり安価であるが、品質を考慮すると買い得とはいえない。また、サイズが日本人の体型に合わない(大きい)ものが多いので、ひとつおりの衣料は日本から持参するのが無難である。

子供服は適当なものが見つかりやすい。最近では国産のブランド店などがあり、品質は悪くない。イタリア、フランス、アメリカなどの輸入製品も時折見かける。値段は多少高いが、材質、縫製ともにしっかりしているので勧められる。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

夏服と、ブレザー、コートまたはオーバーコートのほか、ジャンパーなどを持参するとよい。真昼と夜間の気温差がかなりあるので、夏季でもウインドブレーカーやカーディガンなどの温度調節ができるものが必要である。

下着類は十分な数量を日本から持参すること。現地では綿100%の製品は非常に少なく、着心地のよいものが見つからない。特に女性用の下着類は、日本人にはサイズが大きすぎる。パンティーストッキングやソックスも持参したほうがよい。また、冬はシリアの家は床が石のため冷え込むので、足カバーなどがあるとよい。

革靴、サンダル、運動靴は多めに持参すること。シリア製品は日本人には合わず、足が痛くなるものが多い。運動靴は、「アディダス」の靴が出回っており、品質はよい。また、靴クリームやクリーナーなども合わせて用意したほうがよい。スリッパに似た室内履きやサンダルなどはシリア製品で間に合う。

その他、日本から持参したほうがよいものは次のとおりである。

男性：日本で着用しているものを持参する。背広(夏物、冬物)、ワイシャツ、ネクタイ(現地でも入手可)、ズボン、サマーセーター、セーター、カーディガン、防寒コート、スポーツウエア、パジャマなど。

女性：日本で着用しているものを持参する。通気性のよい夏物を多めに用意すること。合服は少なくともよい。スーツ、ワンピース、ジャケット、コート、セーター、フリースのトップス、ベスト、ブラウス、トレーナー、Tシャツ、スポーツウエアや水着、旅行に適した衣服など。小物では、防寒用の手袋と、日差しが非常に強いので日よけ帽子、日傘が必要である。また、夏の外出着に袖なしは避けたほうがよい。

子供：下着、ふだん着、外出着、運動着など。また、アメリカン・スクールでは、体育の時間でも体操着には着替えなため、男女ともに半ズボン、長ズボンで登校するのが一般的なため、半ズボン、長ズボンがたくさんあると便利である。

乳幼児：現地では綿100%のニット地やガーゼ地のような、肌に優しく涼しい素材の製品が入手困難である。おむつやおむつカバー、肌着を中心に、衣類の大半を持参したほうがよい。しよいこなども現地にはないので、必要に応じて持参すること。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

該当情報なし。

(4) その他の留意点

買い物用バッグ、旅行用バッグ、パーティー用バッグ、リュックなどの各種袋物を持参

すると便利である。

2-2 礼装

(1) パーティー

日本人会主催のパーティーなどがあるが、モーニングなどの礼服は不要である。男性は黒かダークな色のスーツが一般的である。

女性はスーツやワンピースが多い。それに合うフォーマルなアクセサリーやハンドバッグなども忘れずに用意するとよい。

(2) 式典

天皇誕生日に日本大使館主催の祝賀会がある。正月明けには同じく日本大使館主催の新年会が開かれることもある。現在は、日本大使館に在留届を出している日本人が招待を受ける。

服装は、ダークスーツなどでよく、モーニングは不要である。女性は、スーツかワンピースが一般的。

(3) 冠婚葬祭

念のため、黒または地味なネクタイを1本持参するとよい。女性は、黒のフォーマルドレスまたはスーツを1着用意しておくといよい。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店は多数あり、ドライクリーニングやしみ抜きを依頼できる。仕上がりは、よい店も一部見受けられるが、一般的にはあまり期待できない。したがって、上質な衣類やダウン入りの衣類などの特殊なものはクリーニングに出すのを控え、しみ抜き用ベンジンやドライクリーニング用の洗剤を日本から持参して家でクリーニングをしたほうがよい。

アイロンは、日本製品やその他の製品が3000～4000円で販売されている。洗濯機は全自動式と手動絞り式が出回っているが、通常、賃貸住宅の備え付け家具に含まれているので、特に購入する必要はない。洗剤や漂白剤は、国産のほかヨーロッパ製品が豊富に出回っている。ウールや絹製品専用の洗剤もある。



日本人が利用している主なクリーニング店には、Snow Whiteがある(詳細はイエローページを参照)。

(2) 仕立て、修繕

紳士服、婦人服の仕立て・修繕店がある。ズボンの丈直しから背広の仕立てまで可能であり、廉価である。

(3) 保管

乾燥しているため特に問題はない。日本と同様に、羊毛製品には「パラゾール」などの衣料用防虫剤を入れて保管し、皮革製品は日陰干ししたあと、専用のクリーナーを使用すること。衣料用防虫剤は現地でも購入できる。

2-4 美容院、理髪店

美容院は多数ある。料金は地域により多少異なるが、シャンプー・セット付きでカットが300～500シリアポンド、パーマが700～1000シリアポンドである。ホテル内の店は料金が安い。日本やヨーロッパでの流行のスタイルは期待できない。定休日は月曜日である。

理髪店も多数あり、料金は100～500シリアポンドである。定休日は月曜日。主な美容院と理容店は次のとおりである。

<美容院>

- ・Angels
- ・Jacques Dessange

<理容院>

- ・シブキ



3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

必ずしもチップ(バクシーシ)を払う必要はないが、上手に使える相手の対応はよくなる。ただし、道を教えてくれたり、親切にしてくれたたりした人にお礼にお金を渡したりしてはいけない。

(2) 各種サービスに対するチップ

タクシーや各種配達などのサービスに対しては、昼間はメーター料金を5シリアポンド単位で切り上げて渡す。23 : 30以降の夜間は、料金に対して1.5倍くらいのチップを渡すのが目安である。ただし、夜間のタクシーはメーターを切っている場合が多く、料金はチップ込みの値段を交渉することになる。現地の物価水準に不慣れな人に料金を高くいうこともあるが、市内の移動の際に払うチップは、高くても50シリアポンドである。

ホテルやレストランでは、料金の10～15%のチップを渡すのがふつうである。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

飲食店は多いので、困ることはない。しかし、衛生状態が必ずしもよい店ばかりでは

ないので、自分の目で確認すること。特に夏場の生野菜や生肉の類には十分に注意したい。また、イスラム圏の国なので、一部の高級ホテル、レストラン以外ではアルコールは置いてない。

最も多いのは、軽食やファストフードの店で、サンドイッチ店では、アラブ特有の薄いパンにファラーフェル(ヒヨコ豆のコロッケ)や揚げポテト、生野菜を挟んだファラーフェル・サンドイッチ(15~20シリアポンド)や、焼いた鶏肉、羊肉などを挟んだシャワルマ・サンドイッチ(約30シリアポンド)が売られている。マクドナルドなどのアメリカ系のファストフード店はないが、ハンバーガー(25~50シリアポンド)やフライドチキンなども手軽に入手できる。

生ジュース店も多く、季節の果物の絞りたてジュースを飲むことができる。料金は季節によって変わるが、いずれも廉価である。

喫茶店も、日本と変わらない品揃えの店などが多数あり、アラブ特有の水タバコを吸える店もある。ただし、食べ物、飲み物、デザート類は概して日本より甘めなので、苦手な人は注意すること。料金はほとんどのものが日本より安く、会計はレジで行う店もあるが、たいていはテーブルで行う。

(2) 飲食店



各ホテル内にレストランがある。ホテルの詳細はイエローページを参照のこと。

メリディアン・ホテルの近くに、Orient Club、Noble Palace Restaurantという高級(5つ星)シリア料理店があり、フランス料理のメニューもある。旧市街には、Elissar(エリサール)、Casablanca(カサブランカ)などのシリア料理や西洋料理のレストランがある。

一般的なレストラン(2つ星)には、Chevalier、Chaumiere、Sindianaがあり、シリア料理のほか、ステーキ、ピザなどの洋食も揃っている。中国料理は、シャーム・パレス・ホテルの中国料理レストランほかにゴールドデン・ドラゴン・レストラン(セミラミス・ホテル内)と、メッセ地区のCanounがある。イタリアレストランは、旧市街のLa Guitare、メッセ地区のLa Fontanaがあり、日本人の評判もよい。Al-Kassaa地区のS.O.S. Sanabellレストランと、最近オープンしたマルキ地区のVendomeCafe(ヴァンドム食堂)では、寿司(ツナ、サーモン、タコ、イクラなど)、刺身が食べられる。

外国人向けの喫茶店には、メリディアン・ホテル内のロビーの横にLe Gourmetがあり、ドリンク、ケーキ類がおいしい。また、シャーム・パレス・ホテル近くのAroma caféでも、外国人向けの味付けの軽食、デザート類が食べられる。カフェは、JICA事務所近くのin house coffeeがあり、ほとんどのドリンク類が揃っている。

主なレストラン、喫茶店は次のとおり。

● 旧市街



<アラブ料理>

- ・Jabri House
- ・Omayyad Palace

- ・Zeitouna
- ・Elissar
- ・Arabesque
- ・Casablanca
- <イタリア料理>
- ・La Guitare
- 市中心
- <アラブ料理>
- ・Al-Kamal
- ・Ali Baba
- <イタリア料理>
- ・La Fontana
- <中国料理>
- ・Canoun
- <日本料理>
- ・S.O.S. Sanabel
- ・Vendome Cafe(ヴァンドム食堂)
- <シリア料理>
- ・Orient Club
- ・Noble Palace Restaurant
- ・Chevalier
- ・Chaumiere
- 新市街
- <喫茶店>
- ・Aroma café
- ・Le Gourmet
- ・La Noisette



Vendome Cafe(ヴァンドム食堂)

4-2 食料

(1) 一般事情

一年を通して、米、野菜、果物、肉類、乳製品などの主な食料が種類、量ともに豊富に出回る。種類は日本の市場に出回るものと似ており、旬の野菜、果物は大変美味である。単価が安いいため、購入単位は最低250gからとなる。日本ほどではないが、厳寒期にも夏野菜が出回る。また、欧米の輸入食品も最近増えてきた。

食品の衛生状態は店によって違う。肉類は衛生状態のよい店でよく選んで買ったほうがよい。野菜(特に菜葉類)には、寄生虫卵が付いていることが多いので注意して洗う。

また、卵を生で食べることも避けたほうがよく、瓶入り牛乳は、一度沸かしてから飲む必要がある。最近流通しているペットボトル入りの新鮮な牛乳(賞味期限5日)は、そのまま飲むことができる。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

日本米はないが、エジプト米やイタリア米、オーストラリア米(サンホワイト)が入手でき、味もよい。もち米はほとんど入手できない。

<パン類>

シリア特有のパンのほか、フランスパン、コッペパン、菓子パン(あんパンはない)などがあるが、独特の香辛料が入っていることが多く、日本のものとは風味が異なる。しかし、最近では日本人好みのパンも手に入るようになってきた。クロワッサンや菓子パンは、どこかのパン屋、スーパーマーケットでも入手可能。

<麺類など>

スパゲティ、パスタなどは豊富である。また、小麦粉(中力粉)、セモリナ粉、雑穀がある。ケーキ用の薄力粉、ベーキングパウダー、ドライイーストも入手可能。

<豆類>

ヒヨコ豆、レンティル豆、ウズラ豆、白インゲンなどが豊富にあり、最近では大豆も出回り始めている。

<肉類>

牛肉、羊肉、鶏肉、輸入品のソーセージ、ハム、ベーコンなどがある。豚肉も一部の限られた店で入手可能。

<乳製品>

牛乳は、フレッシュミルク、ロングライフミルクがある。乳製品は、ヨーグルト、バター、チーズ、練乳がある。シリア産の塩味主体のチーズは、ブルセラ症対策のために、一度火を通すことが必要。輸入チーズも各種あり、イタリアのモッツァレラチーズ、フランスのブルーチーズも手に入る。飲むヨーグルトもあるが、味付けは全体的に塩辛い。

<野菜>

キャベツ、ニンジン、玉ネギ、ジャガイモ、ニンニクなどは一年中出回っている。季節別に分けると、春はレタス、キュウリ、キャベツ、ソラ豆、サヤインゲン、トマトなど、夏はナス、トマト、キュウリ、オクラ、ピーマン、ズッキーニ、モロヘイヤなど、秋と冬はサツマイモ、ホウレンソウ、カリフラワー、青ネギ、カブなどが出回る。また、生のショウガも数は少ないが、冬場に出回る。買える時に購入して冷凍しておくとう便利。

<果物>

特に春、夏の果物が美味である。リンゴは一年中出回る。季節別に分けると、春はオレンジ、イチゴ、サクランボ、アンズ、スモモ、夏は桃、スイカ、黄メロン、ブドウ、洋梨、イチジク、秋はブドウ、ザクロ、柿、グレープフルーツ、冬はミカン、オレンジなどが出回る。

<魚介類>

海岸地方から遠いため、ダマスカスでは数軒の大きな市場だけが海魚類を扱っている。入荷も少量で高価であり、常に新鮮とは限らない。特に夏季は種類、量が少なくなり、かなり鮮度が落ちる。比較的安いのは、イワシ、カツオ、サバ、アジであり、タイ、エビ、イカ、タコは高価である。

冬場はときどきLatakia(ラタキア)から魚屋が車で行商に来ることがあり、新鮮なものを入手できる。また、Latakia、Tartus(タルトゥース)の港近くの魚市場へ行けば、冬季ならマグロ、イカ、カワハギなどの刺身にできる魚が比較的安く入手できる。冷凍スモークサーモンもある。

<調味料>

塩、砂糖、しょうゆ、ナンプラー、オイスターソースなどの調味料、コショウ、白ゴマ、シナモンなどの香辛料が多種ある。リンゴ酢、ワインビネガー、マヨネーズ、ケチャップ、ジャムもある。

<油>

綿実油、オリーブ油、欧米産コーン油、マーガリンなどがある。輸入品店などでは、ゴマ油も入手可能。

<嗜好品>

酒店、免税店などで、種類は多くないが、洋酒(ビール、ワイン、スコッチウイスキー、ブランデーなど)が手に入る。日本酒はない。タバコはシリア産と欧米産、日本産も出回りつつある。インスタントコーヒー、ココア、紅茶などは豊富であるが、日本人の味覚に合うおいしいコーヒー豆・粉はない。アメリカのコーヒーはある。

<飲料水>

水道水はほとんどの地域で飲み水としてそのまま使用できるが、カルシウム分が多い。飲用には通常、水道水を煮沸するか、ミネラルウォーターを用いるのが無難である。

<菓子類>

アイスクリーム店や洋菓子店が多く、ケーキ、クッキー、チョコレート、キャンディーなども入手できる。ピーナッツ、ピスタチオ、種子類などのナッツ類も豊富である。

<輸入食品>

輸入規制(特に密輸規制)の取り締まりが時として厳しくなるなど、輸入食品の入手には不確定要素が多いが、ここ数年は種類、量ともに増えてきた。休暇・出張時を利用して持ち込まないと、手に入らない場合もある。

(3)食料の入手

日本食品を扱う専門店やスーパーマーケットはないが、しょうゆはアメリカ産の「キッコーマン」が輸入食品店で販売されている。シャールン地区の店Bader(バダー)では、日本のマヨネーズ、酢、乾物なども取り扱っている。

春雨、春巻きの皮などの中国料理の材料、ゴマ油、オイスターソース、豆板醤などの調味料は輸入食品店で見かけるが、高価である。

野菜、果物は青物市場、肉類は肉屋で購入する。日本のように、1軒のスーパーマーケットで何もかもが揃うというわけにはいかない。調味料や缶詰類は、輸入食品店で購入する。

日本食品は手に入らないので、乾物などをアナカン(別送荷物)で大量に持ち込んだり、隣国のレバノンや、ヨーロッパなどへ出かけた時に心がけて購入するとよい。

現地の主な食材店は次のとおりである。



- ・SAAD-ELDIN(サードエルディン)
- ・Bader(バダー)
- ・Hamadah(ハマダ)

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

現地で調達できるものは、冷蔵庫、電気コンロ、ミキサーなどの家電製品、やかん、包丁、料理バサミ、まな板、鍋(ステンレス、テフロン加工品が多い)、中国鍋、圧力鍋、フライパン、ケーキ用具一式などの調理器具、エアポット(日本製あり)、皿、コップ、洋食器、フォーク、スプーンなどの食器、盆、プラスチック製保存容器、つまようじ、汁碗、寿司巻き用具、裏ごし器、保温機能付き水筒などである。

外国人向け住宅では、冷蔵庫などの大型家電製品のほか、ひとつおりの台所用品が備えられていることが多い。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

すりばち、蒸し器、飯台、菜ばし、和食器類(茶碗、茶碗蒸し用の器、重箱、湯呑み、茶托など)、盆、包丁の砥石、出刃包丁、子供用弁当箱などがある。苦汁と木型があれば豆腐をつくれるが、中国系の人がつくる木綿豆腐が現地でも入手できる。

ほとんどの家電製品が揃うが、電気炊飯器、ホットプレートは持参したほうがよい。そのほかは、高い運賃をかけて日本から運ぶより、現地で購入するのが得策である。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

メッセ地区のオートストラード通り沿いなどの大型電気店や、Queen Center(ショッピングセンター)内のスーパーマーケットで、ミキサー、キッチンスケール、キッチンタイマー、フライヤー、コーヒーメーカー、テレビ、オーディオ、洗濯機、掃除機、扇風機、パソコン、ノートパソコンなどが購入できる。ただし、掃除機は質が悪いものが多いので、どうしても必要な場合は日本から持ってきたほうが無難。また、ビデオデッキも現地で購入できるが、日本製のビデオテープを再生しようとしても再生コードが違うため使用できない。

どうしてもビデオが観たい場合は、日本からビデオデッキとテープを持ってくるとよい。

5-2 家具



品質のよい家具は入手困難。シリア産の家具は、見栄えはよいが壊れやすいのが難点。主な家具店にはDELTAがある(詳細はイエローページを参照)。

5-3 日用品、雑貨

日用品であるトイレトペーパー、ティッシュペーパー、掃除用具は雑貨店、スーパーマーケットで販売している。文房具は日本のゼブラ製が多数流通しており、文房具街などへ行けば種類も豊富に揃っている。バスルーム用小物は、レバノンからの輸入品であるアカスリ、石鹸、シャンプーなどがふつうに入手できる。特に石鹸は、特産のオリーブ石鹸や、月桂樹石鹸、ハニー石鹸などが多く揃っていて、在留家族向けの土産としても重宝されている。

5-4 工具、素材

工具やDIY用品は日本ほど種類が豊富ではないが、基本的なものはひととおり揃えられる。ドライバー、のこぎり、かなづち、釘、ネジ類は値段も安く、雑貨店や雑貨スーク、輸入品店で販売しているので、家電製品や家具の補修、修理も可能である。ただし、家具や家電製品などは家主の負担で修理してもらえることが多い。

布地の種類は多いが、木材類はほとんど入手できないので、家庭でDIYを楽しみたい場合は、レバノンなどの大型スーパーマーケットで木工素材などを買ってくることを勧める。

6. 医療



6-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

入国にあたって義務づけられているものはないが、肝炎(A型、B型)、破傷風、狂犬病の予防接種は赴任前に受けておいたほうがよい。

新生児、乳幼児、学童については、ポリオ生ワクチン、BCG、百日ぜき、ジフテリア、破傷風、はしか、風疹の定期接種を、生後3カ月以降は集団摂取でなければいつでも受けられるので、かかりつけの医師とよく相談し、適宜済ませておく。もし、日本で接種し残したものがあっても、シリアで接種を継続することはできる。

(2) その他の準備

眼鏡、ソフトコンタクトレンズは現地で調達できる。歯科治療もでき、矯正も日本より安価にできる。なお、居住ビザを取得するためにエイズ検査が義務づけられている。


6-2 医療事情

以下の記述は、必ずしも最新の医療情報ではありません。詳細(特に緊急時の対応や予防薬の服用方法など)については、現地医療事情に詳しい医療専門家から常に最新のアドバイスを受けるようにしてください。

最新更新履歴：
2005年3月更新

(1) 医療機関

日本人に勧められる医療機関は次のとおりである。Al-Sharmy Hospitalは全科診療可能で、電話は24時間受け付けている(詳細はイエローページを参照)。

<総合病院>

・Al-Sharmy Hospital(私立シャーマーミー病院)

<歯科>

・Dr. Nabil. Khurdaji

・Dr. Adnaan Sabri

<内科>

・Dr. M Sarmel Al Nus

<耳鼻咽喉科>

・Dr. Imaad Ribaat

・Dr. Jamal Qassoumah

<皮膚科>

・Dr. Suheil Diyaab

<ラボ>

・Dr. Nizaar Al-Qatranji

<X線、超音波>

・Dr. Zaki. Sheikh Ghazal

<産婦人科>

・Dr. Anton Shalhoub

<小児科・内科>

・Dr. Nabil.Kasicho

(2) 緊急時の対応と措置

Al-Sharmy Hospitalに電話をすれば、救急車を呼ぶことができる。一般の救急番号110でも救急車を呼べるが、英語は通じない。

6-3 医薬品、衛生用品**(1) 携行することが望ましい医薬品**

下痢止め整腸剤、子供用の各種坐薬(解熱剤、抗生物質など)、湿布薬、虫さされ用の薬、駆虫剤(「コンバントリン」などを半年に一度程服用)など。

このほか、常用している特別な薬品(漢方薬など)、便秘治療剤、痔や水虫などの治療薬、「アイスノン」などを持参するとよい。また、花粉症の人は、現地では春先に症状が出るので、目薬や鼻炎薬を持参すること。衛生用品として、マスクや伸縮包帯(現地では入手不可)、蚊取り線香、虫よけスプレーがあるとよい。

女性は、基礎化粧品の化粧水や乳液は持参したほうがよい。

(2) 現地で調達できる医薬品

薬局はいたるところにあり、医薬品の入手は容易である。

スイスのチバガイギー社やフランスのローヌプーラン社など、一流製薬会社の製品を中心に、風邪薬、頭痛薬、鎮痛薬、解熱剤、抗生物質、胃腸薬、せき止めシロップ、消毒薬、化膿止め、軟こう、ばんそうこう、ビタミン剤、筋肉弛緩剤などの常備薬のほか、各症状に対応する薬品がある。

(3) 現地で調達できる衛生用品

最近、サウジアラビア製の薄型ウイング付きの生理用品が出回っている。日本のものより質はよくないが、使用するには十分である。体温計、ピンセットなども入手可能である。

(4) 薬局

薬局はいたるところにある。病院などで処方箋を出してもらう薬もあるが、ほとんどの現地人は処方箋なしで購入している。薬局の店員の多くは英語が通じるが、必ずしも薬剤師が常駐しているとは限らず、薬品に関する知識が浅い者でも薬を販売しているので、購入に際しては細心の注意を払ったほうがよい。また、ほとんどの薬が輸入品なので、日本人には効き目が強い薬も多い。必要な薬は日本から持ってくることを勧める。

6-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

現地で無事出産した日本人もいるが、万一のことを考えると、現地での出産はあまり勧められない。

優秀な医師(概して高齢である)は、勤務している病院とは別にプライベートクリニックを持っている場合が多い。妊娠中はクリニックで検診し、出産は勤務している病院(AI-Sharmy Hospitalなど)で行うことになる。

普通分娩、異常分娩ともに対応できるが、異常分娩については必ずしも安全とはいえない。また、緊急時に必要な薬が入手できないこともあるので、あらかじめ担当医と薬局に確認し、薬を確保しておくことが望ましい。

早産児出産については、大きな病院では未熟児用保育器などの施設、看護技術ともに対応できる体制はある。流産にも対応できるが、過去に必要な薬が手に入らなかった事例がある。

(2) 出産後の対応

予防接種は法律で義務づけられている。かかりつけの医師とよく相談し、予防接種の種類と接種時期を確認すること。

(3) 育児

哺乳瓶、粉ミルク、ベビーパウダー、ベビー石鹸、シャンプー、オイル、クリーム(ジョン

ソン社製)、おまる、離乳食など、ひとつおりのものは揃う。ただし、既製の布おむつはない。紙おむつは販売されているが、高価である。おむつカバーもあるが、品質に問題がある。

上に着る乳児用衣類は現地でも調達できるが、肌に直接触れるものは、ガーゼなどの吸汗性のよい柔らかいものを日本から多めに持参すること。乳母車、歩行器なども入手できるが、安全性は確かではない。

6-5 手術

(1) 現地で可能な手術

消化器外科、呼吸器外科、心臓外科、泌尿器外科、脳・神経外科、整形外科、形成外科、眼科手術など、虫垂炎から悪性腫瘍まで対応できるが、消毒、麻酔などの技術水準を勘案すると、現地での手術はあまり勧められない。また、看護師の多くは英語が通じないため、不便である。

(2) 手術設備の状況

主だった医療機関の設備内容は次のとおりである。

各種臨床検査(尿、便、痰、血液など)や生検材料の病理検査を行うラボラトリー、心電図・脳波・血圧の各記録装置、超音波検査装置、X線(単純・造影・特殊撮影)装置、断層撮影装置(CTスキャン)、内視鏡機器、ファイバースコープ、酸素吸入装置、輸血装置、その他手術全般に必要な機器装置など。

入院加療設備については、一部の病院ではよく整っている。個室は、トイレ、洗面台、ロッカー付きで、ベッドはリクライニング式である。車いすも利用できる。大手術直後の患者は特別看護病棟に集められ、モニターによる監視を受ける。付き添いはあるほうがよい。

(3) その他の留意点

各種の検査を受けたい時には、あらかじめ病院に予約することが必要である。

6-6 現地での傷病

(1) 一般の疾病

インフルエンザ、急性肝炎、重症の下痢、結石、ウイルス性耳炎がある。

(2) 風土病、感染症

腸チフス、コレラが発生することがあるので、飲料水と生ものには注意する。また、マラリアの発生時には、チーズ、ヨーグルトなどの乳製品はとらないこと。アメーバ赤痢、ランブリア、各種寄生虫、肝炎にも注意が必要である。

(3) 有害動物、病害虫

蚊、ハエ、ブヨ、ネズミ、サソリ(砂漠でのみ注意)がいる。

6-7 保健衛生

(1) 飲料水

飲料水は、地方によっては売り水もあるが、一般的には水道水が使われている。生水を飲用することもできるが、硬水でカルシウム分が多いのと、寄生虫、カビ対策のため、煮沸することが望ましい。シリア製ミネラルウォーターを飲用するのもよい。

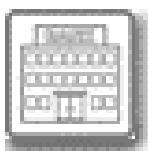
(2) 濾過器の入手

日本製の濾過器を店で見かけるが、水道水は煮沸すれば濾過の必要はない。

(3) その他の留意点

露店の生ジュースなどの生食は、自分の体と相談した上で飲食したほうがよい。夏場にホテルや高級レストラン以外で外食する時は、サラダなどの生ものは避けたほうが無難である。

7. 金融機関



7-1 金融機関

(1) 銀行

外資系の銀行はないが、シリアの民間銀行で外貨・現地通貨の個人口座が開設できる。

最近では街なかにもATMが設置されているので、国際カードなどを日本で作ってきた場合は、シリアポンドのみの引き出しができる。ATMはシヤム映画館の横やマルジェ広場などに設置してある。暗証番号などを押すナンバーボタンが周囲の人から見えている状態であるなど、設置場所は必ずしも安全なところとはいえないので、現金の引き出しには十分に注意すること。また、銀行の現金補充が間わず、お金を引き出せないこともある。レバノンへ行けば、ATMでドル現金を引き出せる。



ATM機



シリアの主な銀行にはBSO(Bank of Syria and Overseas)がある(詳細はイエローページを参照)。

(2) 口座の開設と閉鎖

パスポートを銀行に持っていき、開設したい旨を係の人に伝えると、アカウントを発行してもらえる。

(3) 小切手

小切手の利用は一般的ではなく、個人ではほとんど利用されていない。主に法人や政府が利用しているが、その頻度はきわめて低い。

(4) 換金方法

銀行、空港、ホテル内の両替所で換金する。銀行の両替所では米ドルのほか、ヨーロ

ツパのユーロなどをシリアポンドに替えることができる。主要ホテル内の両替所では日本円からシリアポンドへも両替できる。ただし、いずれもシリアポンドからの両替はできない。闇の両替もあり、街なかで声がかかるが、違法なので利用しないこと。

トラベラーズチェックは2003年秋以降、セミラミス・ホテル前にあるCommercial Bank of SyriaのNo.5の支店(電話 :011-221290)などを除いてほとんど換金できないので、使い勝手は非常に悪い。

7-2 クレジットカード

Diners、VISA、JCB、MasterCard、American Expressなどのクレジットカードを使用できる店は限られている。また、クレジットカードで現金を引き出すことはできない。

8. 交通事情



8-1 交通手段.

(1) 一般事情

大都市を結ぶ幹線高速道路や市内主要道路は、道幅は広いが、舗装状態はよいとはいえない。ときどき穴が開いていたり、マンホールなどが浮き上がったりしていることがあるので、注意が必要である。空港道路や首都の一部の高速道路を除いて、街灯は設置されていない。また、地方道路には急カーブが多いので、夜間のドライブは避けたほうがよい。冬場の雨で路上が濡れている時は、磨耗したタイヤや舗装状態の悪い路面が原因でスリップする車が多いので、十分に注意すること。

<タクシー>

現地で走っているタクシーは、車体が黄色である。深夜以外は容易に利用でき、メーター制で料金は安い。深夜は割り増し料金になる。車両は老朽化したものが多いが、近距離の移動には便利である。

<鉄道>

首都から北方面行き(Aleppoアレppo、Ath-Thauraサウラなどへ行く列車は夜行寝台)と、南方面行きがある。自家用車や長距離バスに比べて目的地への所要時間がかかる。また、1日の便数が行き先別に1、2本と、極端に少ない。列車は市内中心にあるヒジャージ駅ではなく、市郊外南方にあるカダム駅から発車している。

<長距離バス>

首都と各主要都市を結ぶ幹線道路を往復する最も重要な交通手段であり、他の交通手段に比べて目的地への所要時間が短く料金が安い上に、比較的安全である。国営のカルナックバス、民営のトランスツアーバスなど、多数のバス会社のサービス網が広域にわたり、国内はもとよりヨルダン、トルコへも運行している。

<セルビス(シリア特有の乗り合いタクシー)>

通常のタクシーに比べ、格安で便利な交通手段である。長距離セルビスと、国営の市

内巡回バスの通る道路を走る市内サービスがある。行き先別に乗り場が異なり、料金は市内の移動であれば1回あたり5シリアポンドである。

<国内航空(国営シリア航空の国内便)>

各主要都市(ダマスカス、アレッポ、Latakiaラタキア、Al-Qamishliカーミシュリー)間を運航している。飛行時間は短い、飛行場から都心までの距離は長い。Dier-ez-Zor(デリゾール)、Al-Qamishli行きは、所要時間が大幅に短縮されており、便利である。

(2) 空港から市内への移動

ダマスカス空港から市内までの距離は30km。空港にはEuropcarなどの数社のハイヤーが待機していて、夜間を含めいつでも利用できる。料金は500シリアポンド。

(3) 自家用車を利用する場合

シリアでは交通法規はほとんど守られていない。スピード運転、追い越し、信号無視などが非常に多いため、よほど注意しないと交通事故に遭う可能性が高い。

幹線道路から外れ、内陸部(砂漠)を走る時は、迷う恐れがあるため、必ず道案内人を立てること。思いがけず軍関係の施設に迷い込むと大変なことになる。

運転時に常に携帯しなければならない書類には、車検証(車の所有者を証明する書類。交通警察が発行)、黄色カード(車両が正規に輸入されたことを証明する書類。税関が発行)、強制・任意保険証などがある。

(4) レンタカーなどを利用する場合

運転手付きと、車両だけのレンタルがある。後者は長期の契約もできる。

主なレンタカー会社は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・Europcar
- ・Chamcar

(5) 地図

市内地図はツーリスト・インフォメーションで無料で入手できるが、英語版の地図は品切れのことが多く、必ずしも入手できるとは限らない。また、地図上の名前、場所などが間違っていることが多く、信頼性は高くない。鉄道路線図、長距離バス路線図などについては該当情報なし。

8-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

最寄りの交通警察(Traffic Police。電話 :115)に連絡すると同時に、110番に電話して救急車を手配する。ただし、110番は英語が通じないため現場にいるシリア人に応援を頼むか、救急車がすぐに来るとは限らないので病院が近ければ事故現場から直接運び込む。車両事故は警察を呼びレポートを書いてもらわないと保険がおりないので、要注意である。

概して運転者側は、歩行者優先の意識が薄いようである。歩行者は厳重な注意が必

要である。

(2) 救急病院

Al-Sharmy Hospital、Al-Asadi Hospitalなどがある。「6-2医療事情(1)医療機関、(2)緊急時の対応と措置」を参照。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難の心配は少ない。ただし、駐車場がほとんどなく、路上駐車せざるをえない場合が多いので、確実に施錠し、荷物を車外から見える場所に放置しないように注意すること。また、いたづら書きや、あて逃げをされることもある。

8-3 交通違反

(1) 交通法規

車は右側走行である。交通違反には、信号無視、駐車違反、路線違反、スピード違反、歩道駐車、16:00～19:00の警笛使用などがある。

(2) 罰金、罰則

交通法規は実際にはほとんど守られておらず、運転マナーは非常に悪いといわざるをえないが、国が定めている罰則、罰金は存在する。主な罰則は信号違反が罰金1500シリアポンドと1カ月間ライセンス没収、携帯電話を使用しながらの運転が罰金200シリアポンド、シートベルト未着用が罰金200シリアポンド、駐車違反が罰金200シリアポンド、夜間のクラクションの多用が罰金1000シリアポンドなどである。

支払い方法に関しては、その場で交通警察により違反チケットが切られるので、指示に従うこと。出頭場所、日時、罰金などはチケットに記されている。

8-4 車の修理

(1) 部品

一部の車両(部品)を除き、シリアにあるすべての車は輸入したものである。部品は入手できる。

(2) 修理工場

技術水準に問題はないが、すぐに故障してしまうことがあるので、信頼のおける工場に依頼したほうがよい。修理工場がある場所はバラムケ近くのZukak Al Jin地区とカダム駅のあるカダム地区に集中している。

また、ディーラーのサービスには修理項目も含まれているので、ディーラーに修理を依頼してもよい。ダマスカスにはトヨタ、ホンダ、プジョーなどのディーラーがある。

主な修理工場にはAI IMADがある。



9. 通信



9-1 電話

(1) 一般事情

首都では、小さな会社、店舗にいたるまで、一般固定電話の普及率は高い。また、各家庭への普及もかなり進んでいる。ただし、新規の申し込みが多く、電話回線を引くのに時間がかかる。したがって、住宅を選定する時は、電話が即使用できることを条件にすること。

シリアでは、1994年からカード電話が開設された。国際電話にも使えるカードは、商店で販売している。ただし、公衆電話は故障中か使用中であることが多いので、緊急の時は最寄りのホテルの電話か携帯電話を使用すること。

(2) 国内電話

一般固定電話から市内へのダイヤル直通の通話料金は、6分間につき1シリアポンドである。市外へのオペレーターを通して(アラビア語のみ)の通話料金は、ダマスカスからAleppo(アレッポ)へは1分につき2.50シリアポンド、Latakia(ラタキア)へは1分につき2シリアポンド、Homs(ホムス)へは1分につき1.50シリアポンドで、直通は6分間で1.5シリアポンドである。

(3) 国際電話

直通の場合は、国番号に続けて市外局番(最初のゼロを除く)、相手の番号をプッシュする。日本へは1分ごとに90シリアポンド、アメリカへは1分ごとに75シリアポンドの料金がかかる。この料金は、時間帯により割引きとなり、日本への電話の場合シリア時間14:00~19:00で1分50シリアポンドである。コレクトコールの可否に関しては該当情報なし。

(4) 携帯電話

携帯電話はよく普及しており、プリペイドも使える。携帯電話機の販売店も多く、機種はソニー、ノキア、サムソンが主流。機種にもよるが、5000シリアポンドほどで販売している。

9-2 電信

(1) ファクシミリ

問題なく使用できる。シェラトン・ホテルなどでは個人でファクシミリ送信サービスを利用できるが、3分ごとに50%のチャージがかかり、割高になる。料金は1分間75シリアポンドくらいである。

(2) テレックス

該当情報なし。

(3) 電報

国営電報局が24時間オープンしており、国内外宛てを取り扱っている。使用可能な言語は英語、フランス語、ドイツ語、アラビア語で、窓口の所定の用紙に打電先住所、氏名、

電報文を大文字で記入する。ローマ字表記の日本語でもよい。パスポートを持参すること。

電報の宅配はなく、P.O.Boxに入電の通知が届くので、電報局へ出向いて受け取る。

(4) インターネット

インターネット・プロバイダーは国営が2社あり、アドレスの取得が可能である。JICA事務所ではSCS-NET(詳細はイエローページを参照)を利用している。また、最近ではインターネットカフェも増えてきており、ISDNを導入している店もある。

9-3 郵便

(1) 一般事情

中央郵便局は市の中心部ヴィクトリアにあり、近年改修工事が終了したばかりである。1階では1kgを超す郵便物の発送・受け取りを扱い、2階では1kg以下の郵便物の発送・受け取りやその他の業務と、私書箱の管理をしている。営業時間は7:00~15:00で、金曜日は休業である。

日本からシリアへ郵便物を発送する場合は、郵便物が届かないこともあるので、重要なものは書留にする。通関手続(検査、課税)が煩雑なので、1kg以下であれば小型包装便(Small Packet)の利用を勧める。この場合は内容検査も課税もなく、中央郵便局の2階窓口で即時郵便物を引き取ることができる。カセットテープや軽量の衣料、書籍などの郵送に便利である。

日本からの船便は、到着まで3~4カ月を要し、時にはそれ以上になるため、なるべく利用しないほうがよい。航空便であれば、日本からの手紙は1週間~10日、小包は2週間~20日で到着する。

小包の発送時に日本で記入する税関告知書については、内容品の価格欄の記入に基づいて引き取り時の課税額が決定される。内容品の価格欄に高い価格が表示されていたばかりに途方もない税金を支払うこともあるので、実際の価格より低めの値段を記入しておいたほうがよい。

郵便物の宅配制度はない。

(2) 課税

日本食品などにはほとんど課税されない。課税率の高い物品は、新品の衣料・靴などである。

(3) 国際宅配サービス

JICA事務所では主にARAMEXを使用している。日本までは1週間~10日で到着する。

10. コンピューター



10-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

海外で部品を購入し、国内で組み立てられた製品が多数販売されており、価格も日本とたいして変わらない。ただし、ノートブック型のパソコンは数が限られ、価格も高い。周辺機器のプリンター、ケーブル、フロッピードライブや、消耗品であるフロッピーディスク、CD、MO、DVDなども多数販売されている。

日本語仕様のパソコンは販売されていないが、Windows2000、WindowsXPのソフトが入っていれば、日本語入力への変換は可能なので不自由さは感じられない。

(2) 使用の際の注意

スタビライザーは必ずしも必要ではないが、現地の電圧は不安定なので使用したほうがよい。また、シリアでは著作権に対する認識が皆無に等しいので、市中に出回っているソフトの多くは海賊版である。なかにはウイルス入りのソフトもあるので、使用に際しては十分に注意すること。

コンセントの形状、電圧に関しては「1-7 家電(2)コンセント、モジュラージャックの形」を参照。

(3) 修理

大まかな修理は可能であるが、修理後再び壊れることがよくあるので、あまり勧められない。

11. 職場環境、勤務条件



11-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

8:00～14:00。昼休みはなく、一部の幹部を除いてほとんど残業はない。

(2) 有給休暇

年間最高30日。

(3) 執務室

局長以上は個室となる。

(4) 通勤事情

タクシーやセルビス(乗り合いタクシー)を利用しての通勤が一般的。JICA専門家の場合、通常は各省庁手配による車の送迎がある。

12. 出入国手続き



12-1 入国

(1) 空港施設概要

ダマスカス空港の発着ゲートは1階と2階である。パスポート・コントロールや税関は1階にある。屋上には送迎デッキと喫茶室がある。

(2) 入国手続き書類

入国カード(出国時まで保管)、パスポート(入国または滞在ビザ)が必要である。

(3) 入国審査

入国ビザ、入国カードのチェックのみである。入国日から2週間以内にマルチプルの出入国ビザもしくは滞在ビザなどへの切り替えが必要である。

(4) 税関検査

持ち込み禁止品は麻薬、ポルノ関係の品物、けん銃、ビデオカセット、高性能短波ラジオ、FAXモデムなどである。

(5) 空港内での留意点

空港内外には軍関係施設があるため、記念撮影以外にむやみに撮影をしないこと。

(6) 空港からの主な交通手段

ハイヤーを利用するのが一般的である。タクシーも便利である。空港出口付近に、トランスツアーなどの旅行代理店が出店しているので、頼むとよい。バスもあり、空港出口を出て右手に停留所もあるが、本数が少ないので旅行者向けである。

(7) その他の留意点

空港でのカート使用料は50シリアポンド、カートを使用して係の人に運んでもらう場合はさらに25シリアポンドが必要である。車の駐車料は30分で25シリアポンド。

12-2 出国

(1) 出国時の概要

「12-1入国」を参照のこと。

(2) リコンファーム

72時間前までに、ホテルのレセプションに頼むか、直接航空会社支店に電話する。

(3) チェックイン

国際線は出発の2時間前、国内線は1時間前にチェックインする。

(4) 空港利用税

出国税は1人200シリアポンドの印紙を購入し、パスポートに貼付してもらう。

(5) その他の留意点

一般旅券保持者に関しては、出国、再入国のつど、それぞれのビザが必要である。公用旅券保持者は、6カ月間有効のマルチプルの出入国ビザを取得しているため、期間中は出国・再入国を何度繰り返しても問題はない。

12-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

帰路変更により公用旅券に記載された諸国以外を旅行する時は、日本大使館に申請して渡行先の追加手続きが必要である。

ビザの有効期間を確認する。また、予防接種(コレラ)証明が必要な国を通過する場合には、注意が必要である。

(2)車の処分

免税で購入した車は、特権保持者、もしくはフリーマーケット店に売却することになる。その際車は購入時の3分の1から5分の1の値段になる。シリアの一般の購入者にとって車は、車の価格の約2倍もの税金がかかる高価な一生物の財産であり、20年、30年と使用し、壊れるまで乗り潰すものである。

(3)家財道具の処分

送付方法にはアナカン(別送荷物)と郵送とがある。

アナカンは旅行代理店もしくは航空会社で、日本までの航空券(どの航空会社でもよい)を提示して手続きするとよい。

郵送には航空普通小包、航空割引小包、船便小包、書籍専用小包(船便)がある。船便は、日本到着まで遅くて8カ月くらいかかることもあるが、料金は安いので、重量がかさみ、すぐに必要としないものを送るのに適している。航空便は割引小包の利用を勧める。小包は1個につき20kg以下とすること。

アナカン、郵送のいずれのケースも通関検査があるため、荷物を空港または郵便局へ持参しなければならない。

(4)住宅の明け渡し

入居中に住居や付属品に与えた損害に対する賠償を家主から請求されることがある。付属の家具の持ち出しは禁止である。また、公共料金支払いの決済を忘れずにすること。

(5)外貨持ち出し規制

該当情報なし。

13. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

13-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

治安は十分に維持されており、暴動などが起こる可能性は低い。

(2)対処法

日本大使館による連絡網がある。避難方法、場所などについては、日本大使館、の勧告または指示を待つ。

13-2 強盗、盗難

(1)一般的治安状況

治安は比較的よいが、日本人がスリ、空き巣、強盗、ストーカーなどの被害に遭った例がある。

(2)住宅の防犯対策

建物によってはガードマンが入口で出入りする人をチェックしている。入居後は、鍵を新しいものに取り替えたり、もう1カ所増やしたりすると安心である。また、下のほうの階に住む場合は、窓に鉄格子などを入れたほうがよい。

(3)市中での防犯対策

治安はよいほうではあるが、外国にいるという意識を持つ必要がある。めだつ格好や金目のものを目につくところに置かず、バッグの蓋などもきちんと閉じておく。歩行中も後ろからつけてきている怪しい人物がいないか、ときどき後ろを振り返り、安全確認を怠らない。

(4)注意すべき場所、危険地域

スークハミディーエなどの人が多く混雑している場所では、周囲に気を配ること。軍事施設にはむやみに近づかないこと。なお、イラク国境付近への立ち入りは禁止されている。

(5)被害時の心得

強盗などに遭遇した時は、抵抗せず、ある程度の金品をとらせて逃走させる。抵抗して金品を渡さないと、身体に危険が及ぶことになる。

13-3 火災、風水害、地震

(1)一般的災害発生状況

天災の心配は少ない。

(2)防災対策

日ごろから食糧の備蓄や非常用物資の備蓄、金銭の貯蓄などに心がける。

(3)被災時の心得

火災通報は113番、警察は112番、救急車は110番である。

上記各項目については日本大使館発行の『在シリア日本人心得(緊急事態対処要領)』を参照のこと。

13-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 :011-3338273
- ・警察 :112
- ・消防 :113
- ・救急車 :110

14. 社交



14-1 風俗習慣

シリアの街並みや服装は一見西洋化されているが、人々の生活はイスラムの教えに基づいている。対人関係を重んじ、社交性・社会性を尊び、大人としての風格や言動が求められる社会である。

14-2 パーティーでの留意点

体制への批判めいた話題や政治上の微妙な話題は避けること。シリアのよさを理解すべく、積極的に友好関係を広げるように努めれば、シリア社会はきわめて寛大に受け入れてくれる。

14-3 来客時の留意点

イスラム教徒の訪問客には、豚肉製品を使った料理を出さないこと。

14-4 訪問時の留意点

日本の絵はがき、小瓶入りの香水、花束、チョコレートなど、ちょっとしたプレゼントがあるとよい。イスラム教徒宅を訪問する際は、ワインなどの酒の土産は避ける。また、訪問先の子供にお金をあげたりしない。

14-5 禁止されている言動(タブー)

見かけが西洋化しているので、イスラム教の緊張感を感じにくいですが、間違っはめを外すことがないように注意する。特に男女関係はきわめて厳しく制限されているため、みだらな服装や軽はずみな言動は厳に慎むべきである。

14-6 日本人会

シリアの日本人会には、2005年1月現在90人が在籍しており、入会金200シリアポンド、個人会費半年分600シリアポンドで入会できる。同会は、シリアの婦人会、日本語補習校を運営しており、運動会や忘年会などの行事を催している。

14-7 JICA帰国研修員同窓会

シリア政府に設立申請中である。

14-8 現地の人々との交流

一般のシリアの人々は、日本人に対し概して非常に親日的なので、友好関係を築きやすい。娯楽の少ない国で人と会って話す行為は、それ自体が娯楽である。職場や居住地域などの人との出会いの機会は数限りなくあるので、交流できるかどうかは、こちらの積極性があるかどうかだけにかかっている。

現地の人との交流では、これといって特別なことはないが、アラブコーヒーや紅茶を飲みながら互いのことを話し合うことが多い。アラブ時間は日本と比べられないくらいのおんびりと流れているので、日本と同じ時間感覚でものごとを捉えず、アラブ流の社交タイムを満喫するのが一番である。

15. 教育



15-1 教育事情

(1) 一般事情

義務教育は小学校のみである。小学校は6年制、中学校は3年制である。一部の県では学校施設と教員数が不足しているため、小学校と中学校で二部制を実施している。高校は3年制で、中学の成績に応じて普通高校と職業高校に分かれて進学することになる。小学校、中学校、高校には、公立と私立がある。

普通高校を卒業後は大学(4年制以上)か短期大学(2年制)へ進学し、職業高校を出たあとは短期大学へ進学する。高校では、最終学年に全国一斉の大学進学資格試験(バカロレア)を受け、この成績に基づいて学部が選択される。なかでも最も難関なのは、医学部である。大学はすべて国立であり、全国にダマスカス大学などの4校がある。シリアの人々の教育に対する関心は高く、競争率も高い。

学齢期の子女がいる場合は、日本を発つ前に海外子女教育振興財団に出向いて教育相談を受けるとよい。3~4歳児は同年齢の友だちを最も必要とするので、現地でも保育園(ナーサリー)への入園を勧める。

<海外子女教育振興財団>

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30~17:30(月~金曜日、祝日・年末年始を除く)

<東京>

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349 FAX : 03-4330-1355

<関西分室>

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328



(2) 日本人学校

日本人学校はないが、ダマスカス日本語補習校がある(詳細はイエローページを参照)。毎週土曜日に、国語、算数を中心に6コマの授業を行っている。

(3) 現地校、外国人学校



インターナショナル・スクールがある。Damascus Community School(通称アメリカン・スクール)が一般的で、日本の高校3年生相当までの12年制となっている。授業はす

べて英語で行われるが、英語ができなくても入学でき、第二言語として英語教室(ESL)も設置されている。

そのほか、Pakistan School(パキスタン・スクール : ヤフル地区、英語)、ICARDAインターナショナル・スクール(Aleppo)があるが、日本人は在籍していない。

(4) 幼稚園

日本人はDamascus Community Schoolの幼稚園と、メッセ地区にあるワークショップを利用している。

15-2 教育関係施設

(1) 図書館など

日本語補習校に、図書室が設けられている。日本人の幼稚園児から中学生を対象に開かれており、絵本、童話、文学集、伝記集、百科事典、図鑑類などを随時利用できる。また、日本大使館でも日本語書籍を貸し出している。



国立アサド図書館では、アラビア語、英語、フランス語などの図書を多く所蔵しており、一般市民に開放している(メンバー制)。日本語の図書はない。

16. 家庭の使用人



16-1 一般事情

シリアの人々の間では家政婦／夫や子守を雇うのは一般的ではない。外国人の場合は一部の家庭で、シリア人や外国人労働者を通いで雇っている。外国人を雇う場合は、労働許可書や雇用契約でトラブルにならないように注意したい。また、一般的にシリアの人と日本人の労働に対する考え方や姿勢が違うので、何をどうしてほしいのかという要求を具体的に伝える必要がある。相互に理解し合うには、多くの時間を要する。

16-2 運転手

(1) 雇用

通常、私用車は持ち主自身が運転・管理しているが、個人の運転手を雇用することもできる。運転手を雇う場合は、知人、縁人につてや紹介などによる方法もあるが、斡旋会社を通すのが一般的である。代表的な会社にバラムケ地区、ティシュリーン公園近くのSyria Transe(電話 :011-2129251、携帯電話 :094-242926)がある。

(2) 日常管理

英語ができるドライバーが少ないため、意思の疎通を図るには努力がいる。

(3) 教育指導

運転マナーと時間を守ることについては、当初から指導する必要がある。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

16-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

掃除、洗濯、ベビーシッターなどの業務で1人を雇用するのが一般的である。住み込みの例はほとんどない。シリア人、フィリピン系、スリランカ系の家政婦／夫を雇う場合が多い。

(2) 雇用

日本人家庭では、主に掃除、洗濯、ベビーシッターに限り、家政婦／夫の派遣事務所か知人の紹介などを通して雇用している。毎週1～2回で、1回につき3～4時間、手当は1時間につき125シリアポンド程度である。別途交渉しだいで、皿洗い、料理なども依頼できる。1カ月単位での雇用も可能である。

小さな子供がいる家庭では、英語ができるベビーシッターがいると助かる。ただし、英語が話せるかどうかで時給が変わることもある。

(3) 日常管理

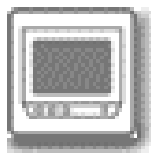
いたずらにでき心を起こさせないように注意する必要がある。仕事の結果に満足できない場合は、そのつどきちんと指導するように心がける。ラマダン明けには給与1カ月分程度のボーナスを支給することが多い。

16-4 庭師、ガードマン

庭師は、必要に応じて年に数回依頼したり、週に数回(定期)の契約をしたりと、家庭によってさまざまである。仕事は庭の清掃と水まきなどで、本格的な技術がある人は少ない。

ガードマンの雇用はJICAオフィスや官庁などの建物ではあるが、一般家庭ではほとんどない。

17. メディア



Yellow Page

17-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

シリアの通信社には、Syrian Arab News Agency(SANA)がある。新聞はすべて官製であり、民間による通信社や新聞社はない。「Syria Times」(英語紙)、「アッサウラ」「アルバース」「ティシュリーン」(3紙ともアラビア語紙)がある。

定期購読は、新聞社の窓口で年間購読料をシリアポンドで払う。

(2) 日本の日刊紙

購読申し込みは日本またはロンドンのOCSで行う(詳細はイエローページを参照)。

(3) 欧米紙／誌

新聞では「The New York Times」「The Times」「Le Monde」「Le Figaro」など。日刊

紙は書店、スーパーマーケットで店頭売りしている。購読申し込みは書店で行う。宅配はない。

また、『TIME』『Newsweek』『The Economist』などの週刊誌や、『Reader's Digest』なども店頭売りしている。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の雑誌、書籍を購入できる書店はなく、OCSなどを利用して購入することになる。OCS便(郵便ではない)はJICA事務所に届けられる。各戸への宅配サービスはない。

17-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

ラジオ放送(国営)がある。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

周波数が変わることがあるので、日本大使館の掲示物を参照のこと。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

・NHK国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp


・周波数表、番組表

URL : http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260(日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

 VOA、BBCがあり、アメリカ文化センター(所在地 : Abou Rumaneh、電話 : 011-3331878、FAX : 011-3321456)とイギリス文化センター(British Council)に最新のスケジュール表がある。モスクワ放送、近隣諸国(レバノン、ヨルダン、トルコ、イスラエル、イラク、エジプト、サウジアラビアなど)の放送も聴取できる。

シリアでも高性能ではないが短波ラジオを購入できる。

17-3 テレビ

(1) 地上波放送局

地上波のチャンネルは1局だけで、国営のシリアテレビ放送(国営)がある。アラビア語放送、外国語放送もあり、日本のアニメーション、時代劇(アラビア語版)なども放映されることがある。放映時間は朝の8時から夜中までで、カラー放映である。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

衛星放送がある。NHKワールドTVは困難なく受信できるが、ニュースのほかは限られた番組しか見られない。受信料は無料。なお、NHKワールド・プレミアムとJSTVを見るには、高価な受信機が必要。受信料も有料である。JSTVと契約して、NHKと民放の番組を見ることもできる。

＜NHKワールド・プレミアム問い合わせ先＞

・(株)NHK情報ネットワーク「カスタマーセンター」

所在地 : 〒150-8042 東京都渋谷区宇田川町7-13

電話 : 海外から : +81-3-5458-6601

・番組表

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/index.html>

FAX : 海外から : +81-3-5454-0888 情報番号258(週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

受信方式は、SECAM方式は少なく、ほとんどがPAL方式である。衛星放送用屋外アンテナを張ると、装置しただけではCNN、BBC、NHKなど、各国の放送が受信できる。

18. スポーツ、 趣味、 語学学習



Video Page

18-1 スポーツ

日常生活でスポーツを楽しむという文化がないので、スポーツ施設などは少なく、あったとしても利用できる季節や時間帯に制限が設けられていることが多い。イスラム圏の国であるため、女性の利用にはさらに制限がある。一般的に学校に女性の体育の科目はなく、女性が自転車に乗ることもほとんどない。

(1)ゴルフ

数は少ないがダマスカス郊外にゴルフ場がある。日本人が多く利用しているのはEBLA Cham Hotel(エブラシャーム)で、日本よりも使用料金が安い(詳細はイエローページを参照)。

(2)テニス、フィットネス

在留日本人に人気があるスポーツは、テニスと水泳である。シリアではテニスは年間を通して楽しめるが、水泳は屋外プールがほとんどなので夏季限定の場合が多い。また、女性は遊泳時間が限られている。フィットネスクラブも高級住宅地の周辺や高級ホテルにある。

バラムケ近くにあるティシュリーン・スポーツ公園の総合運動競技場では、さまざまなスポーツが楽しめる。テニスコートは1時間350シリアポンドでハードコートが利用できる。プールは1カ月3000シリアポンド。ほかにもサッカー場、バドミントンコート、バスケットコートなどもある。ファイバー競技場、アッパーシーン競技場、ジェラー競技場などにも、テニスコートやバスケットコートなどがある。

(3) その他のスポーツ

その他のスポーツは、あまり活発ではない。

18-2 趣味

シリアでのスポーツ以外の余暇の楽しみ方には、旅行、習い事などがある。シリアでは多数の遺跡が各地に残っており、歴史好きではない人にとっても一見の価値がある。ロシア文化センターのベリーダンス、ソシアルダンスの教室や、旧市街ではウード(アラブ特有の弦楽器、ギターに似ている)などの教室があるが、いずれにせよアラビア語での指導になるので、言葉が理解できないと習得するのは難しい。女性を中心に音楽活動も活発。

18-3 語学学習

(1) 語学学習施設

市内にはアラビア語(公用語、現地語)、英語、フランス語、イタリア語などの語学学校がある。料金は最近若干値上がりしているため、日本並みの価格のところもある。授業時間は毎日あるものから隔週、午前、午後とさまざまである。

アラビア語、英語の主な語学学校は次のとおりである。



<アラビア語>

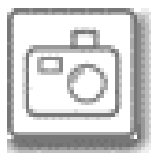
- ・ダマスカス大学内語学センター
- ・ATIF(アティフ)

<英語>

- ・イギリス文化センター(British Council)

(2) 家庭教師

家庭教師による語学学習も可能である。学校に通うより費用は高くつくが、その分時間の融通がきき、働きながら勉強する人には向いている。日本人相手の料金は、1時間につき500~700シリアポンドが相場。英語での授業になる。

19. 観光**19-1 地方旅行の留意点**

外国人の国内旅行に関する規制は特にない。滞在ビザの有効期限を確認し、旅行中はパスポート、身分証明書を携行すること。地方の治安状況はよい。

主な観光ポイントは、ローマ時代、またはそれ以前の神殿や墳墓の遺跡、イスラム城塞、十字軍塞、イスラム寺院、教会、博物館、スークと呼ばれるバザール、海岸、内陸砂漠などである。

公共の交通手段としては長距離バスがある。ただし、地域によってはバスターミナルから目的地までの交通の便が悪い上に、適当な宿泊設備がないので、できれば自家用

車やハイヤーを利用するのが望ましい。

19-2 主要観光地・保養地

主な観光地と観光のポイントは次のとおりである。

<パルミラ : Palmyra (Tadmor)>

ポイント : ローマ時代以前の大神殿遺跡、アラブ城塞、ナツメヤシの森、墳墓群、博物館。

交通手段 : バス。



宿泊 : Palmyra Cham Palace、Zenobia Hotelなど(詳細はイエローページを参照)。

<ラタキア : Latakia>

ポイント : ブルービーチ(海水浴)、ウガリットビーチ(海水浴)、サラハッディーンの城塞(Qalaat Saladin)、ウガリット(象形文字遺跡)。

交通手段 : ラタキアまでカルナックバス、その後はタクシーを利用。



宿泊 : Meridien Hotel、Riviera Hotelなどがある。

<タルトゥース : Tartus>

ポイント : マルカブ城塞。

交通手段 : タルトゥースの手前からタクシー、山頂までは徒歩。

<クラク・ド・シュバリエ : Krak des Chevaliers (Qalaat Al-Hosn)>

ポイント : シュバリエ城(十字軍の城)。

交通手段 : ホムスまではカルナックバス、その後はタクシーを利用。

<ハマ、アパミア : Hama、Apamea>

ポイント : ハマの大水車、博物館、アパミアの宮殿遺跡。

交通手段 : ハマまでカルナックバス、その後はタクシーを利用。



宿泊 : Apamea Cham Palace、Riad Hotelなどがある。

<アレッポ : Aleppo (Halab)>

ポイント : アレッポ城(citadel)、スーク(市場)、考古学博物館、イスラム寺院(Great Mosque)。

交通手段 : バス、鉄道、飛行機。



宿泊 : Beit Wakil、Shahba Cham Palace Hotel、Amir Palace Hotelなどがある。

<セントシモン : St.Simeon (Qalaat Samaan)>

交通手段 : アレッポからタクシーを利用。

<カサブ : Kassab>

ポイント : 日本の吉野のような深い森、避暑地。

交通手段 : ラタキアからタクシーを利用する。

備考 : 冬季はホテルは閉鎖される。

<サウラ :Ath-thaura>

ポイント :ユーフラテスダム(Lake Al-Assad)、ジービル城(Qalaat Jaabar)。

交通手段 :サウラまでバス、鉄道、その後はタクシー。

<ザバダニ、ブルダーン :Zabadani, Bloudane>

ポイント :春の花見、夏の避暑。

交通手段 :タクシー、セルビス。

<ボスラ :Bosra (Bosral'sham)>

ポイント :ローマ円形劇場、地下スーク。

交通手段 :バス。

<マアルーラ、セドナヤ :Maalula, Seydnaya>

ポイント :原始キリスト教会、ハイキング。

交通手段 :マイクロバス、またはタクシー。

<スウェイダ : Suweida>

ポイント :モザイク博物館。

交通手段 :バス。

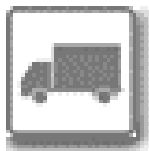
19-3 旅行代理店

主な旅行代理店は以下のとおりである。パッケツターの料金は法外に高いので、何人かで1台の車を借りるか、長距離バスや自家用車を利用し、自分で旅をアレンジしたほうがよい。ユーフラテス川ミニクルーズ、マアルーラ・セドナヤ日帰りツアー、パルミラ・ラクダexcursion、ダマスカス1日ガイドツアーなどのパッケツターもある。



- ・Cham Tour
- ・Minerva Travel & Tourism
- ・Nahas Travel & Tourism

20. 私財の輸送、 引き取り、購入



20-1 家財道具

(1) 輸送会社

該当情報なし

(2) 輸入手続き

アナカンの引き取りに必要な書類は、Airway Bill、航空会社からのアナカン到着通知、パスポートなどである。それらの書類を持参して空港貨物倉庫へ行き、自分の荷物を探し出す。その際、内容品の抜き打ち検査がある。その後、空港税関長の引き取り許可を受け、税金、保管料などを支払って引き取り終了となる。

なお、空港税関で作成される書類はすべてアラビア語であるなど、アナカンの引き取りの過程はかなり煩雑なため、輸送会社を通すのが賢明である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

Tartus(タルトゥース)。ただし、各都市までは通常、輸入会社が配送を行う。

(4) 家具購入

該当情報なし。

20-2 自動車

(1) 一般状況

シリアでは、1990年代に入って急速にモータリゼーションが進んだ。ヨーロッパ車、日本車、韓国車などの新車も見られるようになったが、製造後20年を超える車も数多く走っている。富裕層は一般に「メルセデス・ベンツ」に乗っている。

(2) 輸入手続き

輸入代理の会社を通じて、日本車を含む各国の車両を輸入できる。輸入には、シリア管轄政府機関が車両の必要性を認め、任期満了時には国外へ持ち出すことを条件に発行する特別許可証が必要である。

(3) 現地での購入

購入手続きは事務代理の会社を通すのが一般的で、事務処理が早い。

(4) 自動車登録

車両登録は1年ごとに更新しなければならないので、事務代理の会社に任せるのが賢明である。車両登録更新時にテクニカル・インスペクションを受けることになっているが、エンジン番号、車体番号などの確認を受ける程度である。

なお、ナンバープレートの種類は次のとおりである。

- ・黄色に黒文字 : 持ち帰りを条件に輸入された車両
- ・白色に黒文字 : 一般車両
- ・白色に赤文字 : 営業車両(タクシーなど)
- ・白色に緑文字 : 公用車、軍
- ・青色に黒文字(縦に赤ライン) : シリアとの合弁外国企業
- ・白色に黒文字(縦に赤ライン) : 外交官
- ・白色と青色の半々 : レンタカー
- ・青色に白文字 : UNDOF、UN関係

(5) 免許証取得

国際免許証で運転することはできるが、シリアでの免許証を取得するのが一番望ましい。現地での免許取得には、日本の免許証(国際免許証でも対応可能であるが、日本の免許証が望ましい)を持参し、日本大使館で翻訳証明を受けたあと、視力検査に通れば、約1カ月で取得できる。ただし、入国後3カ月間は免許はつくれない。

(6) 保険、税金

保険会社は、政府機関のSyria Insurance Co.のみである。保険の種類と保険料は次

のとおりでる。

- ・強制保険 : 年間3500シリアポンド
- ・その他の保険 : 年間2000～4万5000シリアポンド(車両の重量、またはモデル、年式による)
- ・対象無制限 : 簡易裁判で決定した金額
- ・対人無制限 : 簡易裁判で決定した金額
- ・同乗者保険 : 1人につき最高10万シリアポンド
- ・車両保険 : 査定に基づく金額

加入申し込みは、手続きを代行するエージェントを通して行う。掛け金は現金で支払うことになる。

事故の際は、保険を申し込んだエージェントと警察へ連絡し、警察から事故証明書を発行してもらう。警察の事故証明がない場合は、最高3000シリアポンドまでしか支払いを受けられないので、注意すること。

21. 地方都市



歴史的に商業の中心地であったAleppo(アレッポ)、内陸部重工業地帯のHoms(ホムス)、古都Hama(ハマ)、農業の中心地Al-Hasakah(ハツサケ)、Ar-Raqqah(ラッカ)、東の玄関であったDayr az-Zawr(デリゾール)、南の要所Suweida(スウェイダ)など、特色ある地方都市がある。

イエローページ

※特に記載がない限り、JICA事務所のあるダマスカスの情報を中心に掲載しています。

1. JICA事務所

所在地	Al Mahdi Bin Baraka, St. No.28 Abou-Roummaneh, Damascus, Syria
郵便物宛先	JICA Syria Office, P.O.BOX 10012, Damascus, SYRIA
TEL/FAX	TEL : +963-11-3339359/3336858 FAX : +963-11-3334834
URL/E-mail	URL : http://www.jicasr.org 、 http://www.jica.go.jp/syria/index.html E-mail : jicasr@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	No.3537 Sharkasiya, Aljala' St. Abou Rommaneh, Damascus (アブルマーニ シャーリーヤライース) (B.P. 3366)
TEL/FAX	TEL : 011-3338273

3. 緊急連絡先電話番号

JICA事務所	TEL : 011-3339359/3336858/3325612
日本大使館	TEL : 011-3338273
警察	TEL : 112
消防	TEL : 113
救急車	TEL : 110

4. ホテル *シングル=S、ダブル=D *使用できるクレジットカード：A：American Express、D：Diners、J：JCB、M：MasterCard、V：VISA。なお、提示料金はすべて2004年12月末までのものである。

■ Sheraton Damascus Hotel (シェラトン・ホテル)

Omayad Sq. (ウマイヤドスクエア)	
TEL : 011-2229300 FAX : 011-2243607	
URL : http://www.sheraton.com E-mail : chamresa@net.sy	
料金：S：200米ドル、D：200米ドル（+税金11%、朝食込み）。	
使用できるクレジットカード：A、D、J、M、V	
高級シリア料理店、イタリア料理店、カフェテリア（朝、昼、晩にそれぞれ日替わりビュッフェやアラカルトを出す）がある。	

■ Meridien Hotel (メリディアン・ホテル)

Al-Kouwatli Ave. (アル・コワトリ通り)	
TEL : 011-3738730 FAX : 011-3738661	
URL : http://www.lemeridien-hotels.com E-mail : meridien-bc@net.sy	
料金：S：175米ドル、D：195米ドル（+税金11%、朝食込み）。	
使用できるクレジットカード：A、D、J、M、V	
高級シリア料理店、カフェテリア（朝、昼、晩にそれぞれ日替わりビュッフェやアラカルトを出す）、屋外レストラン、西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）がある。単身者の長期滞在可。	

■ Cham Palace Hotel (シャーム・パレス・ホテル)

Maysaloun St. (マイサルーン通り)	
TEL : 011-2232300 FAX : 011-2226180	
URL : http://www.chamhotels.com/palace_damascus.html E-mail : chamresa@net.sy	
料金：S：155米ドル、D：200米ドル（+税金11%、朝食込み）。	
使用できるクレジットカード：A、D、J、M、V	
最上階の回転レストラン（シリア料理、西洋料理）、カフェテリア（朝、昼、晩にそれぞれ日替わりビュッフェやアラカルトを出す）兼イタリア料理店、中国料理店（昼、夜）がある。そのほかに日本料理店フジヤマがあり、鉄板焼、天ぷらなどのメニューがある。	

■ Omayad Hotel (ウマイヤド・ホテル)

Brazil Ave. (ブラジル通り)	
TEL : 011-2217700 FAX : 011-2213516	
料金：S：85米ドル、D：95米ドル（+税金11%）。	
使用できるクレジットカード：A、D、J、M、V	
シャーム・パレス・ホテルの近く。町の中心に位置しているので利用しやすい。	

■ Semiramis Hotel (セミラミス・ホテル)

Victoria Bridge (ビクトリア橋)	
TEL : 011-2233555 FAX : 011-2216797	
URL : http://www.semiramis-hotel.com E-mail : semiramis@net.sy	
料金：S：130米ドル、D：150米ドル（+税金11%）。	
使用できるクレジットカード：A、D、J、M、V	
中国料理店（昼、夜）がある。	

5.不動産会社

■Anas AL Zaiim

メッセ地区

TEL : 011-6112625 FAX : 011-6113600

E-mail : ctc-zaim@scs-net.org

■Mohammad Mozeh

Abou Rommaneh

TEL : 093-216526 (携帯電話)

6.クリーニング店

■Snow White TEL : 011-6120346 (メッセ地区)、011-3330819 (アメリカン・スクールそば)

営業時間 : 8 : 30 ~ 21 : 00

市内各所にある。回収、配達も可能。毛布やカーペットなどのクリーニングも受け付ける。

7.美容院・理容店

<美容院>

■Angels

Al Mahdi Bin Barake St. (マルキ地区)

TEL : 011-3343821

カットのみ300シリアポンド、カット+ブロー500シリアポンド。

■Jacques Dessange

シャーム・パレス・ホテル内3階

TEL : 011-2232300

フィットネスクラブの隣り。カットのみ500シリアポンド、カットブロー1000シリアポンド。

<理容院>

■シブキ

シャーラン地区

TEL : 011-3311217

シブキ公園の近くにある。髭剃り、シャンプー付きで100シリアポンド。英語不可だが日本人が多く利用している。

8.レストラン・喫茶店

●旧市街

<アラブ料理>

■Jabri House

Omayyad Mosque近く

TEL : 011-5416254/5443200

内装は古い家屋を生かしたアラブ風のつくりになっており、外国人観光客も多数来店している。夜中の12時ごろが最も混んでいる。

■Omayyad Palace

Omayyad Mosque近く

TEL : 011-2220826/2235018 FAX : 011-2248901

観光客向け、ビュッフェ式アラブ料理。夜はスーフィードダンスが見られる。

■Zeitouna

Bab Charqi近く

TEL : 011-5431324

クラシックなアラブ料理が堪能できる。アルコールも置いてあり、値段は少し高め。

■Elissar

Bab Rome近く

TEL : 011-5424300

クラシックなアラブ料理が堪能できる。2階では水タバコ(アルギーレ)が楽しめる。値段はやや高い。

■Arabesque

Bab Rome近く

TEL : 011-5433999

アラブ料理+西洋料理。イタリアン、フレンチが充実している。

■Casablanca

Bab Charqi近く

TEL : 011-5434814

アラブ料理+フランス料理。インターナショナルな食事が堪能できる。店内は清潔で雰囲気もよい。

<イタリア料理>

■La Guitare

Bab Charqi近く

TEL : 011-5419823

ひとつおりのイタリアン料理が揃っている。適度な硬さの Pasta もある。

●市中心

<アラブ料理>

■Al-Kamal	ツーリスト・インフォメーションの隣り TEL：011-2323572 大衆アラブ料理。ボリュームたっぷりのアラブ料理をとことん満喫できる。大衆向けなので料金も良心的。
■Ali Baba	Sham Palace Hotel近く TEL：011-2225434 大衆アラブ料理。上の階にある系列レストランのAb-Kamalでも同じ料理を食べられるが、こちらの店のほうが料金は安め。

<イタリア料理>

■La Fontana	メッセオートストラード沿い TEL：011-6115268 ピザもパスタもおいしく、在留イタリア人がよく通っている。店内の雰囲気もしゃれていて落ち着いたムードがある。
-------------	---

<中国料理>

■Canoun	メッセ地区 TEL：011-6116967 少しわかりづらい場所にある。酢豚はないが、酢牛、酢鶏があり、マーボー豆腐もおいしい。シェフが中国系の人なので味は確か。
---------	---

<日本料理>

■S.O.S Sanabel	Al Kassaa地区 TEL：011-4449689 寿司+イタリア料理。サーモン、ツナ、タコなどの寿司や刺身が食べられる。値段は高めである。
■Vendome Cafe (ヴァンドム食堂)	Abou Rommaneh TEL：011-3333137

<シリア料理>

■Orient Club	シャーム・パレス・ホテル近く TEL：011-2213004 高級アラブ料理。前菜、デザートは日によって違う。
■Noble Palace Restaurant	ウマイヤドスクエア近く TEL：011-2246164/2216397/2234742 高級アラブ料理。内装はロココ調で、各種レセプション会場になる。
■Chevalier	レストラン街 TEL：011-3333574 シリア料理+西洋料理。エスカルゴ、シーフードがおいしい。
■Chaumiere	レストラン街 TEL：011-3338883 シリア料理+西洋料理。

●新市街

<喫茶店>

■Aroma café	シャーラン地区 TEL：011-3337356 シリアの芸能人もよく訪れるしゃれたカフェ。サンドイッチ、デザート類の種類も豊富でおいしい。
■Le Gourmet	メリディアン・ホテル内ロビー横 TEL：011-2229200 クロワッサン、バゲット、ミルフィーユがおいしい。
■La Noisette	マルキ、イーストメッセ、シティーモールなど TEL：011-3735952 ピザ、サンドイッチ、クレープがおいしい。パン、ケーキは持ち帰りできる。

9. 食材店

■ SAAD-ELDIN (サードエルディン)

シャーラン地区の野菜スークのなか

TEL : 011-3334054

営業時間 : 10 : 30 ~ 21 : 00 ごろ (金曜日定休)

2階に玩具売り場もある。

■ Bader (バダー)

シャーラン地区

TEL : 011-3336785

営業時間 : 10 : 30 ~ 21 : 00 ごろ (金曜日定休)

日本食品の取り扱いが多いが、賞味期限が切れているものが多い。

■ Hamadah (ハマダ)

ウェストメッセ地区

TEL : 011-6132371

営業時間 : 10 : 30 ~ 22 : 00 ごろ (金曜日定休)

レバノンからの輸入品が多数あり、高価だが日本食材も何点がある。

10. 家具店

■ DELTA (デルタ)

メッセ地区

TEL : 011-6131518 FAX : 011-6111812

オートストラード通り沿いで、イラン大使館の近くにある。イタリアンデザインの家具が豊富。ただし、製造はシリア。

11. 医療機関

< 総合病院 >

■ Al-Sharmy Hospital (私立シャーマーミー病院)

マルキ地区

TEL : 011-3734960/3735090/3718970 ~ 5

受診時間 : 24時間受付

診療科目 : 私立の総合病院、救急あり。

料金 : 診察1回1000シリアポンド、諸検査約1000シリアポンド、胸部レントゲン約350シリアポンド。手術料は医師によって異なるが約1300シリアポンド (Dr.Sharmyの執刀料は1万5000シリアポンド)、手術室料は2000シリアポンド、ベッド料は1日930シリアポンド (個室)、回復室料は100シリアポンド、各種薬代は2000シリアポンド、CTスキャン4500シリアポンド程度である。

要予約。CTスキャンなど、検査・治療・入院設備は最新であるが、非常勤の医師が多い。MRIはない。

< 歯科 >

■ Dr. Nabil. Khurdaji

Abou Rommaneh

TEL : 011-3338824

受診時間 : 10 : 30 ~ 13 : 30、17 : 00 ~ 20 : 30

定休日 : 金曜日

■ Dr. Adnaan Sabri

Abou Rommaneh

TEL : 011-3335732

受診時間 : 9 : 00 ~ 13 : 30

定休日 : 金曜日

Al-Jahez Parkの向かいにある。

< 内科 >

■ Dr. M Sarmel Al Nus

Al-Mouhajrin

TEL : 011-3733382

受診時間 : 11:00 ~ 13 : 00、17 : 00 ~ 20 : 30

定休日 : 金曜日

<耳鼻咽喉科>

■Dr. Imaad Ribaab

Salhiyeh

TEL : 011-2230000

受診時間 : 9 : 00 ~ 16 : 00、9 : 00 ~ 12 : 00 (土曜日)

定休日 : 金曜日

<皮膚科>

■Dr. Suheil Diyaab

Salhiyeh

TEL : 011-4452221

<ラボ>

■Dr. Nizaar Al- Qatranji

Al-Hamra St.

TEL : 011-2216760/2226030

受診時間 : 8 : 30 ~ 17 : 00

定休日 : 金・土曜日

日本語が少し通じる。

<X線、超音波>

■Dr. Zaki. Sheikh Ghazal

Jisr Abyad

TEL : 011-3335191

受診時間 : 9 : 00 ~ 13 : 45、17 : 00 ~ 20 : 30

定休日 : 木曜日の午後と金曜日

<産婦人科>

■Dr. Anton Shalhoub

Al-Hamra St.

TEL : 011-4457339/4454605

受診時間 : 10 : 30 ~ 13 : 45、17 : 00 ~ 20 : 30

定休日 : 金曜日

<小児科・内科>

■Dr. Nabil.Kasicho

Mazraa, Damascus

TEL : 011-4458120/3331869

受診時間 : 10 : 00 ~ 13 : 00、17 : 00 ~ 20 : 00

定休日 : 金曜日

中央銀行の西にある。往診可、予防接種可。

12.金融機関

■BSO (Bank of Syria and Overseas)

Al-Harika Bab Barid-Lawyers retirement bldg

TEL : 011-2460569/2460560 FAX : 011-2460555

E-mail : bsomail@bso.com.sy

13.レンタカー会社

■Europcar

メリディアン・ホテル内

TEL : 011-2120624/2124946 FAX : 011-2111304

E-mail : europcar@net.sy

ホテル内にあるので何かと便利。長期利用はディスカウントあり。

■Chamcar

シャーム・パレス・ホテル近く

TEL : 011-2216615 FAX : 011-2226181

E-mail : hertz@mail.sy

Hertzの代理店。

14.自動車修理工場

■AI IMAD	カダム地区
	TEL : 011-6350084
	トヨタ、ブジョーなど、いずれの車種も修理可能。

15.インターネット・プロバイダー

■SCS-NET (Syrian Computer Society)	
	ティシュリーン公園内
	TEL : 9981 FAX : 011-3731170
	URL : http://www.scs-net.org/ E-mail : customer-care@scs-net.org
	政府系プロバイダー。

16.国際宅配サービス会社

■ARAMEX	Al-Hamla St.
	TEL : 9794、011-3312179
	日本までの料金(目安) : 最初の1kgが650シリアポンド、その後1kgごとに500シリアポンド付加される。
	集配サービスが取りに来てくれる。

17.教育機関

<日本語補習校>

■ダマスカス日本語補習校	
	マルキ地区、ジャヘーズ公園前
	連絡先・郵便送付先 : 日本大使館気付
	TEL : 011-3332082
	入学手続き : 父兄が日本人会に入会することが条件。
	入学金 : 20米ドル
	授業料 : 小・中学校は1カ月50米ドル。
	通学手段 : 徒歩、または自家用車で送迎。
	授業は毎土曜日の10 : 30~16 : 30。新学期は4月から。夏休みは7~8月。

<外国人学校>

■Damascus Community School	
	Al Mahdi Bin Baraka St., Damascus
	TEL : 011-3337737/3310331 FAX : 011-3321457
	E-mail : dcs-dam@net.sy
	登録料 : 300米ドル
	試験料 : 200米ドル
	入学金 : 600米ドル
	授業料 : 保育園 3950米ドル/年、幼稚園~小学5年 1万米ドル/年、小学6年~中学2年 1万1000米ドル/年、中学3年~高校3年 1万1900米ドル/年。
	施設料 : 1500米ドル
	授業は9月開始で2学期制。夏休みは6月中旬~8月末。休校日は金・土。通学手段はスクールバス、自家用車、タクシーなど。

18.図書館

■国立アサド図書館	
	ウマイヤドスクエア近く
	TEL : 011-3320806
	開館時間 : 9 : 00~20 : 00
	本の貸し出しは行っておらず、館内での利用のみ可。利用に際しては、図書利用カードをつくる必要がある(要顔写真。カードがつけられる時間は9 : 00~13 : 00)。図書館の年間利用料は200シリアポンド。

19.新聞・雑誌の購読

■海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス	
	〒108-8701 東京都港区芝浦2-9-13
	TEL : 03-5476-8131 FAX : 03-3453-8091
	URL : http://www.ocs.co.jp/ E-mail : subs@ocs.co.jp
■OCS EUROPE LTD	
	5th Floor, 50 Southwark St. LONDON SE1 1UN
	発刊日から5~7日で郵便でP.O.Boxに届けられる。宅配はない。ロンドン申し込みの購読料は半年で約328英ポンド。日本国内でも契約できる。

20. スポーツ施設

<ゴルフ>

■EBLA Cham Hotel

ダマスカス郊外

TEL : 011-2134020 FAX : 011-2134026

料金はグリーンフィー、パウチャー、食事券付きで70米ドル。クラブなどのレンタルも可、キャディーも頼める。

21. 語学学校

<アラビア語>

■ダマスカス大学内語学センター

TEL : 011-2129850

通称マルカズ。ウマイヤドスクエア近く、オートストラード通り沿いにある。公用語（フスハー）の授業あり。1ターム1カ月で1万シリアポンド。週5日、9：00～13：00。授業はアラビア語で進められるが英語も通じる。欧米からの留学生が多い。同センターでは現地人向けの日本語、英語の授業もある。

■ATIF（アティフ）

イーストメッセ地区

TEL : 011-6132646

サウジアラビア領事館近くにある。公用語（フスハー）の授業あり。1ターム4カ月で1万シリアポンド。週5日9：00～12：30。ムスリム圏からの留学生が多い。授業はアラビア語で進められる。

<英語>

■イギリス文化センター（British Council）

Shaalán, Maysaloun St.

TEL : 011-3310631 FAX : 011-3321467

URL : <http://www.britishcouncil.org/syria> E-mail : general.enquiries@sy.britishcouncil.org

在留日本人もよく通っている。週3日×7週間で9000シリアポンド（教科書代込み）。改装したばかりなので、建物がきれいである。

22. 地方のホテル

<パルミラ：Palmyra（Tadmor）>

Palmyra Cham Palace

Damascus St.

TEL : 031-912231/912230 FAX : 031-912245

試用できるクレジットカード：American Express、MasterCard、VISA

Zenobia Hotel TEL : 031-910107 FAX : 031-912407

パル神殿に近い。

<ラタキア：Latakia>

■Meridien Hotel

Queen Zein St.

TEL : 041-428736 FAX : 041-428732

■Riviera Hotel

14, Ramadan Ave.

TEL : 041-421803 FAX : 041-418287

<ハマ、アパミア：Hama、Aapamea>

■Apamea Cham Palace

Hama

TEL : 033-525335 FAX : 033-511626

■Riad Hotel Al-Kouwatli St.

TEL : 033-239512 FAX : 033-517776

<アレppo：Aleppo（Halab）>

■Beit Wakil Sissi St., Jedaideh

TEL : 021-2217169 FAX : 021-2247082

■Shahba Cham Palace Hotel

Damascus Road

TEL : 021-2270100 FAX : 021-2270150

■ Amir Palace Hotel

Bab Djenine St. / Al-Rayes Sq.

TEL : 021-2214800 FAX : 021-2215700

23. 旅行代理店**■ Cham Tour** Cham Palace Hotel内1階

TEL : 011-2232300、094-212218 (携帯) FAX : 011-2216617

URL : <http://www.chamhotels.com> E-mail : chamtour@net.sy営業時間 : 10 : 30 ごろから

■ Minerva Travel & Tourism

Al-Rawda

TEL : 011-3311886 FAX : 011-3335135

E-mail : minerva@net.sy営業時間 : 10 : 30 ごろから

■ Nahas Travel & Tourism

Al-Fardoos St.

TEL : 011-2232000 FAX : 011-2232006

E-mail : sales@nahastt.com営業時間 : 10 : 30 ごろから
